

2017年4月1日

学生のみなさんへ

神奈川大学長
兼子 良夫

2018年度からの学年暦及び授業時間の変更について（お知らせ）

本学は、これまでの学年暦の編成において、大学設置基準に準拠した学修時間を確保するため、長期休暇期間中の留学、海外語学研修やインターンシップ等を配慮しつつ、様々な制約（祝日を授業日にする等）を設け半期15週の授業期間を確保していました。

他方、大学行事や社会貢献活動なども活発に行われることにつれ、このままでは、正課、正課外を問わず、みなさんの主体的な活動にも支障を来し、教育効果を高めることが期待できないものと判断し、2018年4月から、次のように変更することにしました。

1. 学年暦について

- (1) 各学期の授業期間を15週から14週に短縮する
- (2) 祝日の授業実施日を削減する
- (3) 各学期に補講日を確保する
- (4) 代替授業日を解消する
- (5) 夏季及び春季休業日を増加する

※ 2018年度学年暦は、2017年度前学期末頃に確定する予定

2. 授業時間について

- (1) 授業時間を90分から100分に拡大する
- (2) 授業時間区分を横浜キャンパス及び湘南ひらつかキャンパスで統一のうえ変更する
1時限 09:00-10:40 2時限 10:50-12:30 3時限 13:30-15:10
4時限 15:20-17:00 5時限 17:10-18:50
6時限 19:00-20:40（横浜キャンパス）
7時限 20:45-22:25（横浜キャンパス博士前期課程昼夜開講制時限）

※ 横浜キャンパス大学院における6時限及び7時限の開始時刻等については、各研究科において柔軟に対応できるものとする予定

特に、授業時間を100分に拡大することは、学修・学生生活に及ぼす影響は相当に大きいものと予測しますが、単に授業時間数の確保ばかりが目的ではなく、授業運営に、アクティブラーニング等の手法を用いた教育効果を高めるための工夫が一層行い易くなるであろうと考えます。これにより、みなさんが授業へさらに意欲的に取り組み、学びの実感や充実感を得られるように大学として推進していきますので、2018年度からの変更を予め承知のうえ、趣旨をご理解くださるようお願いいたします。

以 上